

新緑が美しい季節になりました。大型連休などに森林に出かけられた方も多いのではないのでしょうか。

さて、山口県の森林面積（平成25年度）は約43万7千ヘクタールで、県土面積61万千ヘクタールの約72%を占めています。緑豊かな山口に住む私たちにはとても身近な森林ですが、山口県県民経済計算（同24年度）の県内総生産をみると、第一次産業である農林水産業が全体に占める割合は0.9%で、しかも林業が全体に占める割合はわずか0.1%にすぎません。面積の割合に比べて非常に小さい数字だと思いませんか。

しかし、きれいな水を育んだり、県土を災害から守ったり、地球温暖化防止に役立つなど、森林には経済規模に表れないとても大切な役割があります。

そんな森林・林業を守り、若い世代にも関心を持ってもらいたいとの思いから、県内の木・森好きの女性が集まり、全国で14番目となる「林業女子会@山口」が昨年7月に発足しました。@山口は「森で笑おう・森と笑おう」のコンセプトのもと、木製コースターやヒノキチップのシューズキーパー作り、ナメコの駒打ち体験など、木や森と触れ合う活動をしています。女性目線の新しい取組による林業の活性化を大いに期待したいですね。

今回は林業のお話でしたが、県では、経済の規模、成長率などさまざまな情報をまとめた統計資料「県民経済計算」を作成しています。県のホームページにも掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

経済活動別県内総生産構成比

年度	第1次産業			第2次産業			第3次産業				計			
	農業	林業	水産業	鉱業	製造業	建設業	卸売・小売業	不動産業	サービス業	その他				
H24	0.9	0.6	0.1	0.2	35.5	0.1	30.6	4.8	63.6	9.1	11.0	17.2	26.3	100.0

資料：平成24年度山口県県民経済計算